

# NPO 法人タンデム自転車NON<sup>のん</sup>ちゃん倶楽部

プロフィール

所在地

愛媛県松山市。

受賞者名

NPO 法人タンデム自転車 NON ちゃん倶楽部。

活動名称

障がい者のサイクリング活動。

こんな活動です

障がいなんて吹っ飛ばせ！！

連携している団体等

特別支援学校、公民館、図書館、PTA、社会教育関係団体、スポーツ団体、NPO 法人、文化芸術活動を行う団体、社会福祉法人、企業・事業所、病院・保健所、行政（保健・福祉部局、スポーツ部局）。

活動分野

スポーツ。

主な対象

肢体不自由・視覚障害・聴覚障害・知的障害・その他の障害。

団体の規模（団体の場合のみ）

役員 12 名（会員数 500 名）。

活動の説明

## ①活動内容

視覚・身体・知的障がい者等と健常者が一緒にタンデム自転車（2人乗り自転車）に乗り、健康や友情や生きがいを育む取組みである。

「お前が俺の眼になり、俺がお前の脚になる」とタンデム自転車に乗った日常生活を送ることが、亡くなった視覚障がい者の主人の夢であったため、平成 22 年に愛媛県内で乗車が全面解禁となったことをきっかけに活動をスタートした。

タンデム自転車は健常者と障がい者が障がいの有無にかかわらず一緒に楽しめる「インクルージングスポーツ」の代表的な活動で、障がい者の社会参加の促進と共生社会の実現を図るために行っている。特に、障がいを持つ方に対し「体験に勝る教訓はなし！」とタンデムサイクリングへの参加を積極的に呼び掛け、この体験をきっかけに障がい者やその家族等の社会参加の促進を図っていかうとしている。また、健常者にとっても、障がいを理解するには「共に時間を共有する」ことが一番大切と考え、当該活動を通じて、多様な障がいを理解する機会となっている。

今では、競輪選手と競輪場を走ったり、マリンスポーツと組み合わせたイベントを行ったりすることも定例化している。また、地域ボランティアの方々と釜でご飯を炊いておにぎりを作る体験などして、障がい者の自立の助けになればと実施している。

平成 29 年度の年間延べ支援対象者数は、760 人（うち障がい者とその家族 398 人）であった。

## ②活動体制

NON ちゃん倶楽部の活動は、「随喜功德」で成り立っている。行政、企業、競輪選手等の方々がタンデムパイロット、ブース・一般・搬送ボランティア等、多岐にわたる「随喜功德メンバー」である。さらに、協賛企業なども入れると年間 300 名を超す方々に協力していただいている。

## ③活動の効果等

「まさかこんなことができるなんて！！」という感動を味わうことで、次の一歩が踏み出せる。先天性や後天性、障がいの状況、年齢、立場の違いなど様々であるが、当該活動を通じ、障がい者やその家族、サポートする方々から、「生きていてよかった」「人生そのものを変えることができた」「心が洗われてストレス解消ができた」と喜びの声を受けるなど、様々な活動の効果が出ている。

具体的には、引きこもり自殺まで考えていた人が今では台湾まで走りに行き、外の方にも喜んでほしいと積極的な生き方に舵を切ったり、イベントで出会った視覚障がい者が複数組結婚し、子どもが生まれたりするなど、参加する方々の人生をも変える結果が生まれている。また、ここ最近自然災害が増え、南海トラフ地震が発生した場合、本県ではかなりの被害が出ると予想されていることから、現在、障がい者の大地震発生時の不安を払拭するため、「避難困難者に可能性と夢を」を活動テーマに設定し、自主防災組織との連携も視野に入れた活動をしている。

様々なメディアでも活動が取り上げられ、全国からの問合せも増え、県外からの参加者もあった。昨年は、「国際交通安全学会」が愛媛県で開催できたことも誇りに思っている。

活動パンフレットの発行（年 1 回 3,000 部）を継続して行い、イベントに参加した方々の声や苦しみから立ち直った経験を書いていただき、「体験に勝る教訓は無し」の思いで作成している。

視覚障がい者の方には、サピエ図書館で情報を取得できるようにしている。

## 活動の様子

### 写真 1

新たに寄贈で増備されたロード型タンデム自転車。

### 写真 2

水上バイクへの乗船もスタッフパワーで障がいをクリア。